

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成28年4月

福井県知事 西川 一誠
国体推進局長 国久 敏弘

28年度目標（30年度目標）

28年度の施策

1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

◇県民総参加の福井国体【部局連携】

○国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の融合

- ・国体と大会の融合を進め、県民や全国からの来県者が幸せを感じることができる大会を目指します。

○各競技会の開催準備

- ・競技会を円滑に運営できるよう、市町が開催するプレ大会の支援や審判員の計画的な養成を進めるとともに、県外競技の開催地に事務所を設置します。
- ・市町に対して既存施設や特設会場の計画的な整備を促し、本県選手の本会場での練習の機会を増やすことにより、競技力向上を支援します。
- ・全国から来県する選手・監督等の受入れに向け、宿泊施設の設備等について現地調査を行います。また、宿泊施設において福井のおいしい食を提供するため、県産食材や郷土料理を活かした献立を作成します。

- ・選手や監督、観客に快適な空間を提供するため、競技会場のトイレの洋式化などを行います。
- ・障害者スポーツ大会の競技を円滑に進めるため、障害者団体や市町、競技団体と協力し、競技会場における選手の動線をバリアフリー化するための設計を行います。

○開・閉会式の準備

- ・式典総合プロデューサーの助言を得ながら、演技展開案を作成して演技伴奏曲と振付を制作するほか、式典音楽の楽曲を制作するなど準備を着実に進め、式典実施計画を策定します。
- ・開・閉会式会場への参加者の送迎を確実に実施するため、必要なバスの台数把握や実走調査などを行います。

○広報・県民運動の推進

- ・県の各部局や市町、より多くの企業や団体と協力し、1県民1参加、1県民1スポーツ、1県民1自慢の県民運動を推進します。
- ・国体と大会の開催機運を醸成するため、国体と大会の残日数を表示するボードのJR福井駅等への設置、会期を示した横断幕の小中学校等への掲出、公式ポスターのデザイン制作を行います。
- ・多くの県民が新県民歌を歌う機会を増やすため、音楽の授業や式典、行事、県内の吹奏楽団による演奏等を活用して普及を図ります。
- ・リオデジャネイロ五輪への出場を決めるなど活躍している本県選手や期待の若手選手を、広報紙や新聞特集記事等において紹介することにより、県民が選手を応援する機運を高め、競技力向上を支援します。

○ボランティアの確保

- ・運営ボランティアについて、社会福祉団体や企業などに協力を要請するとともに、秋からパンフレットやホームページ等に情報を掲載し、募集を開始します。

- ・聴覚障害のある選手などへの手話や要約筆記を行う**情報支援ボランティア**の養成を開始します。また、県内の看護・福祉・教育系の大学や専門学校とともに、障害のある選手に帯同する**選手団サポートボランティア**を養成するための体制を整備します。

(平成 27 年度 **情報支援ボランティア** ー)

450 人 (600 人)

(平成 27 年度 **選手団サポートボランティア** ー)

ー (800 人)